

第16回 ちゅうでん教育振興助成（平成28年度）

報告書資料 一般-115

学校名・団体名	熊本市立託麻東小学校
HPアドレス	http://www.kumamoto-kmm.ed.jp/school/e/takumahigashies/index/framepage2.htm
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	みんなでつくる託東緑化!ふれあい一杯元気一杯
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>地域と一体になった学校環境緑化活動の推進をとおり、震災からの復興をめざした。本校の緑化活動は、伝統的に地域の中でも評価され、地域の人々から親しまれてきたが、震災の関係で1ヶ月近く休校になったこともあり、例年より取組スケジュールも遅れ、地域と連携してできなかった活動もあった。そのような中で、改めて本校の伝統的な緑化活動を再開し、それを発信していくことは、震災復興に向けて子どもたちも前向きに進んでいることを内外に示し、それが地域を元気づけることにもつながると考えた。</p>	

- (1) 朝のボランティア活動グリーンタイムの積極的参加
- (2) 10000本のチューリップを育てよう。
- (3) メモリアルツリー(桜の大苗)の植樹およびセレモニー
- (4) 育てた苗の地域の人々へのプレゼント
① 地域の介護施設へ ② 中学校へ ③ 保育園へ ④ 子ども避難の家へ
- (5) 6年生の緑化活動と学校生活の様子をリンクさせ、記録をとってDVDを作成し、卒業時に配布します。

1.活動時期・内容

- 通年 8:05~8:15 朝のグリーンタイム 1人1鉢の世話や草取りなど
月に1回 15:10~15:55 グリーンタイム (4年生以上)
- 5月~6月 夏、秋の花の苗作り (栽培委員会)
7月15日 コスモスロードの整備 種まき 草取り 6年生(グリーンタイム)
7月22日 樹木ウォークラリー(全校参加 縦割り活動)
10月中旬から 春の花の種まき苗作り 春の花の1人1鉢
ピートポットを使って、一人一鉢用の苗作り (種から育てる)を始める。
11月22日 熊本震災メモリアルツリー植樹会
6年生が中心になっての呼びかけ、植樹の準備。
地域の方々の支援とご参加のもと、運動場西側に10本の大苗を植樹。全校児童で仕上げの土かけを行った後、震災からの復興を祈ってのセレモニーを行った。
地域、保護者の方々のご参観、くまモンの登場 地元テレビ局からも数社取材。
- 1月下旬頃 花いっぱいプロジェクト 隣の中学校や老人会にも手伝ってもらい、春を飾る10000本のチューリップなどの球根を校内や周辺に植える。
- 2月下旬から 花苗を近隣の介護施設や寄付したり、地域のお世話になっている方々にプレゼントしたりする。
- 1月下旬から 6年生へ配布するDVDを編集・作成
3月上旬
- 3月23日 卒業式 育てた春の草花たちでお祝いすることを通して、震災から立ち直り、前を向いて進んできた自分たちの足跡を確認するとともに今後も復興に向けて努力していくことを誓い合う。

2. 成果及び子どもたちの効果

- 日常の緑化活動の成果で熊本市の学校緑化コンクールにおいて東区賞を受賞することができた。
- 震災のため、最高学年として1年生の世話をしたり、上級生らしい活動を見せたりできなかった6年生にとっては、縦割り集団で活動するウォークラリーは、初めての活躍の場となり、リーダーとしての行動や表情が見られた。
- ピートポットを使って一人一鉢で種子から花を育てることを通して子どもたちの植物に対する思いが深まった。
- 地域の方のご協力も得て実施することができた桜の植樹セレモニーは、全校での呼びかけ、合唱など6年生が中心となって取り組んだ。改めて、自分たちと震災との関係を見直し、感謝の心を確認し、復興への思いを新たにできる機会になった。また、セレモニーの後半では子どもたちの大好きなくまモンも来校し、記念写真を一緒にとるなど、子どもたちにとっても癒しの時間となった。
- ちゅうでんの助成金を活用して購入したチューリップの球根植えを栽培委員会の子どもたちが中心になって実施した。中学校への球根の贈呈式を行ったり、地域の老人会の方々に来ていただいたりして1年生の子どもたちと一緒に球根植えをしてもらうことにより、老人会の方々と連携が深まり、地域の方々の学校に対する思いをじかに知る機会となった。
- 学年ごとに自分たちの育てた苗を手紙をつけて、学年ごとに学習でお世話になった地域の方や日ごろ世話になっている「子ども避難の家」など届け、感謝の気持ちを伝えたことにより地域の方の子どもたちや学校に対する関心が高くなった。
- 6年生は、自分たちの活動した記録DVDを卒業記念品としてもらうことでこの1年間の自分たちの成長を確認することができた。